

令和5年度事業報告書・収支決算書

令和6年度事業計画書・収支予算書



2024.2 「Iwate Collider School」



2023.9「サステナビリティワークショップ」

令和6年6月10日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

令和5年度

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

- (1) 国内・外の状況と活動概況
- (2) 国等への要望活動の強化
 - ア. 国等への要望活動等
- (3) 国内・外への ILC 誘致実現にむけた活動
 - ア. 国内 PR の強化
 - イ. 海外への情報発信強化
 - ウ. 普及啓発活動
 - エ. 岩手県 ILC 連携室・オープンラボ活用支援
- (4) 調査・研究活動
 - ア. ILC に関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出
 - イ. 東北 ILC 事業推進センターの活動
 - ウ. ILC ガイドラインシリーズ7「ILC 日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」増刷
- (5) 広報活動
- (6) 組織強化活動
 - ア. 会員増強
 - イ. 産・学・官・関係機関との連携
- (7) 諸会議等
- (8) 会員加入状況

(1) 国内・外の状況と活動概況

国際将来加速器委員会（ICFA）が創設した ILC 国際推進チーム（IDT）は 2021 年 6 月「ILC 準備研究所提案書」を公表したが、文部科学省「有識者会議第 2 期」は 2022 年 2 月「素粒子研究の学術的な意義や分野の重要性を認め、国際共同研究の重要性は理解するものの、国際コミュニティが提案している準備研究所を設立するのは時期尚早であるとした一方、国際的な加速器の研究開発を継続し、国際的な ILC のロードマップを見直す」ことを提言した。

ICFA は 2022 年 3 月、「IDT の枠組みを継続し、日本での ILC を進展させる」ことを表明し、IDT は新たな段階として、工学設計に向けた ILC 関連技術の開発の促進などを目的とした「ILC テクノロジーネットワーク（ITN）」と国際的な議論の進展に向けた働きかけを行うために「国際有識者会議」を設置した。2024 年 7 月、高エネルギー加速器研究機構（KEK）と欧州原子核研究機構（CERN）が ILC の研究開発に関する新たな枠組み「ITN」に関する協定に署名し、10 月には CERN で「ITN インフォメーション会議」が開催され 10 ヶ国、28 研究機関、68 名が参加した。

米国では、素粒子物理学プロジェクト優先順位決定委員会（P5）が 2024 年 12 月、「ヒッグスファクトリーは極めて重要で、建設計画が進む欧州の「FCC-ee」と「ILC」の実現可能性と設計の研究に大きな役割を果たすことを推奨。10 年間で 10～30 億ドル（円換算 1,450 億円～4,350 億円）を想定する」と公表した。

国内では、2023 年 4 月、リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟（ILC 国会議連）拡大総会で新しい組織体制となり、令和 6 年度（2024 年度）国の ILC 関連予算は 10.5 億円と概算要求どおり増額計上され、世界が共同して研究開発に取り組む ITN の取組の方向性に沿った予算となった。

このような中、当推進協議会は ILC の早期実現のため日本の ILC 誘致実現に向けた具体的な活動計画や日本政府の前向きな方針が示されることが重要であることから、鈴木俊一財務大臣はじめ ILC 国会議連、東北選出国會議員、経済 3 団体に積極的な支援を要請する活動を一年を通して行った。

海外への情報発信では、9 月に岩手大学が主催、当推進協議会と東北 ILC 事業推進センターが共催し、ILC の国際研究者会議「International Workshop Sustainability Future Accelerators (WSFA2023) MORIOKA」を誘致・支援した。「グリーン ILC」に取り組む候補地の活動など地元の熱意を発信し、あらためて ILC 日本誘致実現に向けて海外研究者と共同で取組むこととなった。また、若手研究者や大学院生を育成する国際スクール「第 3 回 Iwate Collider School」の開催支援も行った。

さらに、ILC 建設のための具体的な調査・検討を進めている東北 ILC 事業推進センターと連携し、現地課題や受入れ態勢の整備等の準備活動に積極的に取り組んだ。

ILC 日本誘致実現には、国民全体の盛り上がりが必要であることから、ILC 講演会の開催等、各種の啓発活動を切れ目なく展開するなど、岩手県、ILC 関係団体とともに積極的に事業を展開した。

(2) 国等への要望活動の強化

ア. 国等への要望活動等

① 日本商工会議所地域振興部、経済同友会との打合せ

令和5年4月10日（月）/日本商工会議所会議室、経済同友会会議室

出席 日本商工会議所地域振興部、経済同友会：齋藤常務理事

岩手県立大学山下特任教授、県大平 ILC コーディネーター（CO）、猿川事務局長

- ・ 令和5年度上期の ILC の推進活動や ILC 国会議連の動きなどについて情報を共有した。

② 岩手県選出国會議員との打合せ

令和5年4月13日（木）/衆議院第二議員会館事務所、参議院議員会館事務所

出席：県大平 ILC CO、猿川事務局長

- ・ 階猛衆議院議員、藤原崇衆議院議員、横澤高德参議院議員、広瀬めぐみ参議院議員事務所を訪問。

ILC 国会議連拡大総会等の開催動向や最新の状況について情報を共有した。

③ リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟拡大総会

令和5年4月27日（木）/衆議院第一議員会館1階多目的ホール

出席：谷村会長、鎌田副会長、菊池専務理事、猿川事務局長

第一部 議事として新役員体制が承認された。

東北選出の国会議員では、副会長に鈴木俊一財務大臣、小野寺五典衆議院議員、幹事長に伊藤信太郎衆議院議員、幹事に階 猛衆議院議員、西村明宏衆議院議員、事務局次長に藤原崇衆議院議員が就任。

第二部は、「将来技術と ILC」をテーマとしたパネルディスカッション。

④ ILC100人委員会増田寛也代表との打合せ

令和5年5月12日（金）/日本郵政(株)応接室

出席：岩手県立大学鈴木学長、同 山下特任教授、県大平 ILC CO、猿川事務局長

- ・ ILC 国会議連拡大総会の報告等、最新状況の共有と今後の ILC 日本誘致実現への推進活動について意見交換を行った。

⑤ 日本商工会議所地域振興部、経済同友会との打合せ

令和5年5月18日（木）/日本商工会議所会議室、経済同友会会議室

出席：日本商工会議所地域振興部、経済同友会：齋藤常務理事

岩手県立大学山下特任教授、県大平 ILC CO、猿川事務局長

- ・ ILC 国会議連拡大総会の報告と令和5年度岩手県 ILC 推進協議会活動計画について説明、情報を共有し、継続支援を要請した。

⑥ 岩手県選出国會議員との面談

令和5年6月2日(木) / 衆議院第一・第二議員会館事務所、参議院議員会館事務所

訪問先：階 猛衆議院議員、藤原崇衆議院議員、鈴木俊一事務所、横澤高德参議院議員、
広瀬めぐみ参議院議員

訪問者：岩手県立大学鈴木学長、同 山下特任教授、広島大学栗木教授、岩手県佐々木理事、
猿川事務局長

- ・ リニアコライダー国際ワークショップ LCWS2023 (米国 SLAC 研究所) 5月開催など海外における日本の ILC 誘致に関する最新状況の説明のため訪問し、情報を共有した。

⑦ 日本商工会議所地域振興部、経済同友会との打合せ

令和5年6月28日(水) / 日本商工会議所会議室、経済同友会会議室

出席：日本商工会議所地域振興部、経済同友会：齋藤常務理事

広島大学栗木教授、県大平 ILC CO、猿川事務局長

- ・ ILC 国会議連拡大総会、リニアコライダー国際ワークショップ LCWS2023 (米国 SLAC 研究所) などの報告と令和5年度活動計画について説明、情報を共有した。

⑧ 岩手県立大学鈴木学長と谷村会長との打合せ

令和5年7月25日(火) / 盛岡商工会議所2階特別会議室

出席者：谷村会長、鈴木学長、菊池専務理事、県大平 ILC CO、猿川事務局長

- ・ 仙台経済同友会例会における ILC 講演会の報告。国民の理解促進のため、経済団体主催によるシンポジウムの開催企画など、今後の ILC 推進活動についての意見交換。中国の巨大円形加速器計画など最新の情報を共有し、鈴木俊一財務大臣ほかとの懇談会の事前協議を行った。

⑨ 鈴木俊一財務大臣(議連副会長)、藤原崇衆議院議員(議連事務局次長)との懇談会

令和5年7月28日(金) / ザ・キャピトルホテル東急「水簾」

出席者：谷村会長、岩手県立大学鈴木学長

- ・ ILC 日本誘致実現に向けて ILC 国会議連の活動や「ILC 準備研究所」の設立、令和6年度概算予算要求などについて意見交換を行った。

⑩ 伊藤信太郎衆議院議員(議連幹事長)との懇談会

令和5年9月1日(金) 19:00~21:00 / ホテルメトロポリタン仙台「はや瀬」

出席者：岩手県立大学鈴木学長、猪股登米市 ILC 誘致推進協議会長、吉岡岩手大学客員教授、
県佐々木理事、県大平 ILC CO、猿川事務局長

- ・ ILC 日本誘致に向けて ILC 国会議連の活動や「ILC 準備研究所」の設立、令和6年度概算予算要求など、ILC 日本誘致実現に向けた推進活動について意見交換を行った。

⑪ 藤原崇衆議院議員（議連事務局次長）との打合せ

令和5年9月14日（木）/衆議院第二議員会館事務所

出席者：岩手県立大学鈴木学長、県大平 ILC CO、猿川事務局長

- ・伊藤信太郎衆議院議員との面談報告など、今後の ILC 日本誘致実現に向けた推進活動について意見交換を行った。

⑫ ILC100 人委員会増田寛也代表との打合せ

令和5年9月19日（火）/日本郵政(株)応接室

出席者：岩手県立大学鈴木学長、同山下特任教授、県佐々木理事、県大平 ILC CO、猿川事務局長

- ・ ILC 国会議連幹部との面談報告、KEK など研究者の新体制の動きなどの情報を共有し、今後の ILC 誘致実現への推進活動について意見交換を行った。

⑬ 令和5年度岩手県選出国會議員・中央省庁要望（岩手県商工会議所連合会）

令和5年9月20日（水）/復興庁、財務省、文部科学省、中小企業庁、
ホテルグランドアーク半蔵門

出席者：谷村会長、鎌田副会長ほか県内商工会議所会頭（理事）、専務理事

要望先：復興庁 角田 隆 事務次官

財務省 鈴木 俊一 財務大臣

文部科学省 塩見 みづ枝 研究振興局長

中小企業庁 須藤 治 中小企業庁長官

地元選出国會議員との懇談会：ホテルグランドアーク半蔵門

藤原崇衆議院議員、階 猛衆議院議員、横澤高德参議院議員、広瀬めぐみ参議院議員、鈴木俊一財務大臣（代理）、小沢一郎衆議院議員（代理）

要望書 「東日本大震災津波被害からの復興完遂と、その先を見据えた岩手県経済の再生に向けて」

⑭ 日本商工会議所地域振興部、経済同友会との打ち合わせ

令和5年10月6日（金）/日本商工会議所会議室、経済同友会会議室

出席：日本商工会議所地域振興部、経済同友会：齋藤常務理事

県大平 ILC CO、猿川事務局長

- ・当推進協議会主催 ILC 公開講演会の報告とサステナビリティ国際ワークショップ盛岡における脱炭素エネルギーに関する日欧の認識の違いと取り組みの方向性など、今後の経済団体としてのSDGsの取り組みなどについて意見交換を行った。

⑮ ILC 国会議連幹部との面談

令和5年11月6日（月）～7日（火）/衆議院議員会館、参議院議員会館事務所

訪問先：階 猛衆議院議員、櫻井 充参議院議員、大塚 拓衆議院議員、西村明宏衆議院

議員、田村憲久衆議院議員、鈴木事務所

訪問者：岩手県立大学鈴木学長、県大平 ILC C0、猿川事務局長

- ・ ILC の最新状況、盛山文部科学大臣、高市経済安全保障担当大臣記者会見の内容、サステナビリティ国際ワークショップ盛岡開催等の報告と「省庁横断による国家プロジェクトとしての ILC の推進」について意見交換を行った。

⑯ 鈴木俊一財務大臣、伊藤信太郎環境大臣、増田寛也 100 人委員会代表との懇談会

令和 5 年 11 月 22 日（水）/ザ・キャピトルホテル東急

出席：谷村会長、岩手県立大学鈴木学長

- ・ ILC の最新状況、盛山文部科学大臣・高市経済安全保障担当大臣記者会見の内容、サステナビリティ国際ワークショップ盛岡開催について報告と「省庁横断による国家プロジェクトとしての ILC の推進」について、意見交換を行った。

⑰ ILC 実現建設地域期成同盟会講演会（協力）

令和 5 年 12 月 6 日（水）13:30～15:00 於：ペリーノー一関

主催：ILC 実現建設地域期成同盟会

メッセージ：塩谷立 ILC 国会議連会長、鈴木俊一同副会長、小野寺五典同副会長

来賓挨拶：達増拓也岩手県知事（岩手県南広域振興局長代読）

講演：「科学技術外交から見た国際リニアコライダー計画」

講師：（一財）笹川平和財団 理事長 角南 篤 氏

講演：「ILC 加速器技術と ILC Technorogy Network」

講師：高エネルギー加速器研究機構 教授 道園 真一郎 氏

⑱ 伊藤信太郎環境大臣、藤原崇衆議院議員との面談

令和 5 年 12 月 7 日（木）/環境大臣室、衆議院議員会館

出席：岩手県立大学鈴木学長、県大平 ILC C0、猿川事務局長

- ・ 超伝導加速器空洞（ILC）加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。インドの環境汚染（水と大気）を電子ビームで解決する「日印プロジェクトの推進」について伊藤信太郎環境大臣に説明した。
- ・ 藤原崇衆議院議員は、11 月 22 日鈴木俊一財務大臣ほかとの懇談会の報告と今後の ILC の推進について意見交換を行った。

⑲ 大塚拓衆議院議員、階 猛衆議院議員、櫻井充参議院議員との面談

令和 5 年 12 月 19 日（火）/衆議院議員会館、参議院議員会館

訪問者：岩手県立大学鈴木学長、県大平 ILC C0、猿川事務局長

- ・ 超伝導加速器空洞（ILC）加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。「省庁横断による国家プロジェクトとしての ILC の推進」について、意見交換を行った。

⑳ 岩手県議会・宮城県議会国際リニアコライダー建設実現議員連盟 ILC 講演会・懇親会

令和6年2月8日（木）/ホテルメトロポリタン盛岡本館

出席：谷村会長、猿川事務局長

演題：「国際リニアコライダーの概要と最近の動向」

講師：岩手県立大学 鈴木 厚人 学長

- ・谷村会長が懇親会において来賓挨拶。

「省庁横断による国家プロジェクトとして一日も早い政治決断となるよう支援を要請」

㉑ 藤井 健 ILC まちづくり講演会講師、大西有三京都大学名誉教授との昼食懇談会

令和6年3月11日（月）/ホテルメトロポリタン盛岡 NW「対い鶴」

出席：谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、山下特任教授、県箱石 ILC 推進局長

- ・ ILC 計画の国民の理解促進についてなど今後の ILC 推進活動について懇談した。

㉒ リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟総会

令和6年3月21日（木）16：00～17：20/衆議院第二議員会館 B1 会議室

出席：谷村 AAA 理事（代理：猿川事務局長）

1. 挨拶 塩谷 立 会長

2. ILC 計画を巡る現状について

○研究者：山内 KEK 機構長、石野 ILC ジャパン代表

○文部科学省：予算状況、国際協議の進捗状況 塩見研究振興局長

○内閣府：連絡会議の設置について 科学技術・イノベーション推進事務局 藤吉審議官

3. 「グローバルプロジェクト」についての説明と提案：浅井東京大学教授

4. 意見交換等

(3) 国内・外への ILC 誘致実現にむけた活動

ア. 国内 PR の強化

① 一般社団法人仙台経済同友会 6 月例会：ILC 講演会、懇談会

令和5年6月22日（木）/ウェスティンホテル仙台

演 題：「国際リニアコライダー：ILC の東北誘致に向けて」

講 師：岩手県立大学 鈴木 厚人 学長

演 題：「新たな地方創生～産業と地域のイノベーション」

講 師：岩手大学 吉岡 正和 客員教授

参加者：130 名

随 行：県大平 ILC CO、猿川事務局長

② 第 56 回東北・北海道商工会議所連絡会議

令和 5 年 8 月 29 日（火）/盛岡グランドホテル

参加者：日本商工会議所小林会頭ほか東北六県・北海道商工会議所連合会の会頭、専務理事 230 名

『ILC 日本誘致が生み出す「価値」と「未来」』の冊子を配布し、理解を求めた。

谷村会長は懇親会開催地代表挨拶で、「ILC 誘致実現に向けた取組みと ILC 東北誘致実現への支援と協力」を呼び掛けた。

③ ILC 推進連絡会による活動：ILC 推進団体の連携

ILC 推進連絡会は、ILC の連携推進体制の強化のため、研究者、岩手県 ILC 推進局、地球システム総合研究所 ILC 計画研究会、東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会で組織され、国内外の推進状況の情報共有と立地関係に関する検討、オールジャパン体制での広報活動など情報共有を行う。

推進連絡会は月 2 回リモートにて開催（第 61 回～第 103 回）

各団体によるイベント・シンポジウム・講演会等の情報を共有。米国の P5 の状況や欧州の FCC-ee の検討状況、立地に関する調査研究など、ILC を取り巻く国内外の状況を共有した。

イ. 海外への情報発信強化

① International Workshop Sustainability Future Accelerators (WSFA2023)

世界の大型加速器プロジェクトの建設、運用、実験終了後の対応において、環境への影響を最小化し、持続可能な社会実現のための取組が必須となっている。このような背景の下、国内外の研究者間で、それら取組の現状と今後の課題を共有することを目的に国際ワークショップが開催された。

主催：岩手大学（WSFA2023 現地実行委員会）

共催：岩手県 ILC 推進協議会、東北 ILC 事業推進センター

後援：高エネルギー加速器研究機構、（一社）先端加速器科学技術推進協議会、東北 ILC 推進協議会、（一財）地球システム総合研究所 ILC 計画研究会

協力：盛岡市

日時：令和 5 年 9 月 25 日（月）～9 月 27 日（水）

場所：いわて県民情報交流センター（アイーナ）501 会議室ほか（現地・ハイブリッド）

参加者：研究者 56 名

内訳：受講者数 39 名（日本機関所属者 32 名、外国機関所属者 7 名）

オンライン 17 名

内容・大型加速器プロジェクトにおける Life Cycle Assessment にかかる検討状況

・加速器の低消費電力化などの技術開発の状況

・グリーン ILC

・EU における技術開発交流事業の状況

発表者 東日本機電開発㈱：低品位廃熱回収の商業化

(株)柴田産業：東北における持続可能な林業

一 関 市：一関市における森林のCO2吸収量の定量的評価

視 察 松尾八幡平地熱発電所（9月25日午前）

懇談会 「ウエルカムパーティ：岩手県 ILC 推進協議会主催」

9月26日（火）19：00～21：00 ホテルメトロポリタン盛岡 NW「ギャラクシー」

主 催 者 挨 拶：谷村会長

来 賓 挨 拶：達増知事、内館市長

メッセージ・乾杯発声：岩手県立大学鈴木学長

お 礼 ス ピ ー チ：スタイナー・スタプネス

メ ッ セ ー ジ：中締め：岩手大学小川学長

エキスカージョン：盛岡市内観光（9月27日午後）わんこそば、八幡宮、報恩時、
中の橋・紺屋町界限散策

- ・脱炭素エネルギーに対する日欧の認識の違いなど、今後の活動につなげる。地元の熱意が伝わり、ILC 誘致実現に向けて海外の研究者と共同戦線の再スタートを切った。



松尾八幡平地熱発電所視察



ウエルカムパーティの記念写真

② ドイツ ラインラント・プファルツ州首相訪問団に係る歓迎夕食会

日 時 令和5年10月26日（木）19：30～21：30

場 所 ホテルメトロポリタン盛岡 NW 「星雲の間」

出 席 谷村会長が出席し、ILC への理解と協力を求める歓迎のスピーチを行った。

③ シビ・ジョージ駐日インド共和国大使表敬

日 時 令和6年2月9日（金）13：30～14：15

場 所 盛岡商工会議所会館役員応接室

出 席 谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、菊池専務理事

- ・岩手県との産業・経済交流の促進を目的に表敬されたシビ・ジョージ駐日インド大使との面談において、ILC 計画と加速器を活用したインドと日本との「ガンジス河浄化日印プロジェクト」など環境浄化に関する日印連携について情報交換を行った。

④ 国際スクール「Iwate Collider School 2024 in 安比」(共催)

素粒子物理を先導する国内外の講師を招き、基礎から最先端まで高い専門性や国際的通用性を持つ大学院生、若手研究者の育成を目的とした実習形式のスクール合宿が岩手安比高原で開催された。

主催：岩手大学、高エネルギー加速器研究機構 (KEK)

共催：岩手県 ILC 推進協議会、東北 ILC 事業推進センター

日時：令和6年2月26日(月)～3月2日(土)

場所：ANA クラウンプラザリゾート安比高原

(現地・オンライン開催)

参加者：大学院生、若手研究者 30名

外国機関所属者11名(ドイツ2名、インド5名、中国2名、韓国2名)

日本機関所属者19名(うち3名外国籍)

講師：外国機関所属者4名(欧州)、日本機関所属者6名

※国際スクールの写真等含め内容詳細はホームページで公開

<https://ics.sgk.iwate-u.ac.jp/>



⑤ 県ホームページ掲載内容の更新

岩手県ホームページ内「ILC 推進」ページにて掲載している当協議会の紹介文を岩手県 ILC 推進局と連携して更新した。

⑥ ILC 英語版広報誌「THE KITAKAMI TIMES」の発刊(当協議会ホームページ内)

海外の研究者等に ILC の候補地である北上サイトや岩手県内の観光やイベント情報、ILC 実現に向けた地域の取組等を英語版の広報紙としてウェブ上に掲載し、北上サイトに対する理解や機運醸成に努めた。

令和5年4月1日～令和6年3月31日 165刊～186刊(22刊)発刊

⑦ ILC サイト紹介動画の発信

海外の研究者等に建設候補地周辺地域の日常、風景、暮らしを知ってもらうための地域紹介動画を令和3年度に制作、令和5年度もPRカードの配布や各推進団体等のSNSにより周知を行った。

タイトル 『Iwate prefecture : The ILC candidate site』

ウ. 普及啓発活動ー①. 公開講演会等

① 第11回グリーン ILC セミナー（共催）：HP から動画配信

主 催 岩手県

共 催 東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会、洋野町

日 時 令和5年7月31日（月）13時30分～16時

会 場 洋野町民文化会館セシリアホール コミュニティホール

挨 拶 箱石岩手県 ILC 推進局長

洋野町副町長

講 演 「ILC の最近の動向とグリーン ILC」

講師：岩手県 ILC CO 大平 尚 氏

「カーボンニュートラルに向けた洋野町の取組について」

講師：洋野町水産商工課長 板橋 寿彦 氏

「官民共同によるカーボンニュートラルの取組について」

講師：住友商事東北(株)執行役員 木村 英樹 氏

「藻場の再生と保全によるブルーカーボンの創出」

講師：鹿島建設(株)技術研究所上席研究員 山木 克則 氏

会場とのディスカッション ファシリテーター 吉岡 正和 氏

・会場入場者 140名

② ILC 公開講演会（ハイブリッド開催）

日 時 令和5年8月21日（月）13：30～15：45

会 場 ホテルメトロポリタン盛岡NW 「メトロポリタンホール」

主 催 岩手県 ILC 推進協議会

内 容

「国際リニアコライダー：ILC の東北誘致実現に向けて」

講師：岩手県立大学学長、東北 ILC 事業推進センター代表

鈴木 厚人 氏



「ILC 建設候補地における地下施設検討の状況」

講 師：東北大学教授、東北 ILC 事業推進センター地下施設検討部会長

京谷 孝史 氏

・会場入場者約 100 名。ユーチューブ配信聴講約 200 名。

③ ILC 講演会（共催）

日 時 令和5年9月23日（土）13:00～15:00

会 場 大船渡市民文化会館 リアスホール

主 催 岩手県

講 演 「大船渡港の振興に向けた取組」

講師：大船渡市長 瀧上 清 氏

「地球村創成ビジョンと ILC について」

講師：岩手県 ILC CO 大平 尚 氏

「地域資源と ILC を生かしたまちづくり」

講師：(株)NTT ファシリティーズ カスタマーソリューション本部

街づくり推進部 副部長 平井 貞義 氏

・会場入場者約 150 名。オンライン聴講約 500 名。

④ 第 12 回グリーン ILC セミナー（共同主催）：HP から動画配信

主 催 岩手県、東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会

日 時 令和6年2月25日（日）13:00～16:00

会 場 イーストピアみやこ（宮古市）

挨拶 宮古市長 山本 正徳 氏

概況説明

「ILC の最近の動向とグリーン ILC」

岩手県 ILC CO 大平 尚 氏

「カーボンニュートラルを巡る世界の状況」

KEK 名誉教授、岩手大学・岩手県立大学客員教授 吉岡 正和 氏

講 演 「風力発電増強に向けた課題」

講師：Arup 再生可能エネルギーチーム アソシエイト・ダイレクター

佐々木 仁 氏

「東北電力の再生可能エネルギーにおける取組」

講師：東北電力(株)再生可能エネルギーカンパニー企画・開発部 副部長

及川 充洋 氏

事例報告

「早成樹を活用した【エネルギーの森】」

講師：(株)柴田産業 代表取締役

柴田 君也 氏

「岩手県宮古市の脱炭素に向けた取組み

～再生可能エネルギーで持続可能なまちへ～」

講師：宮古市エネルギー・環境部 部長

三上 巧 氏

会場とのディスカッション：コーディネーター 吉岡 正和 氏

・会場入場者 70 名

ウ. 普及啓発活動②. その他（後援・協力等）

① 「国際リニアコライダー（ILC）講演会 ～ILCとSDGsとまちづくり～」(後援)

日 時：令和5年5月20日（土）16:00～18:00 於：花巻温泉 ホテル花巻（ハイブリッド開催）

主 催：岩手県商工会議所青年部連合会

後 援：日本商工会議所青年部、東北ブロック商工会議所青年部連合会、岩手県国際リニアコライダー推進協議会

協 力：岩手県 ILC 推進局、いわて加速器関連産業研究会

講 師：吉岡 正和 氏（岩手大学・岩手県立大学客員教授、高エネルギー加速器研究機構(KEK)名誉教授、(一社)国際経済政策調査会代表理事）

② (一社)国際経済政策調査会「PSG 特別セミナー」(協力)

令和5年9月4日（月）14:00～16:00 於：ザ・キャピトルホテル東急

主 催：(一社)国際経済政策調査会（吉岡 正和代表理事）

講 演：「中国・周近平政権下の安全保障と科学技術」

講 師：(一財)キャノングローバル戦略研究所 主任研究員 峯村 健司 氏

出 席：齋藤理事、猿川事務局長

③ 令和5年度岩手県工業技術センター 一般公開(協力)

日 時：令和5年10月7日（土）9:00～16:30 於：岩手県工業技術センター他

主 催：(地独)岩手県工業技術センター

共 催：(一社)岩手県発明協会、(公財)いわて産業振興センター、(株)イーハトーブ・スクエア、岩手県環境保健研究センター

内 容：岩手県 ILC 連携室・オープンラボ見学

来場者数：1,433名

④ 第9回みちのく共生会講演会(協力)

日 時：令和5年10月31日（火）16:00～17:15

主 催：みちのく共生会

講 師：KEK 名誉教授、岩手大学・岩手県立大学客員教授
吉岡 正和 氏

演 題：「アジア初となる大型国際研究機関 ILC 誘致の意義と我が国へのインパクト」

出 席：120名

⑤ VACUUM2023 真空展「国際リニアコライダー計画展」(協力)

令和5年11月29日（水）～12月1日（金） 於：東京ビッグサイト（東京都）

主 催：日本真空工業会、日本表面真空学会、日刊工業新聞社

来場者数：延べ 40,836 名

内 容：岩手県・北上サイト周辺自治体、いわて産業振興センター、いわて加速器関連産業研究会と連携して実施。

主催者展示ブースは、超伝導加速器空洞大型ポスター展示、ILC リーフレットや観光パンフレットによる北上サイト周辺自治体の PR を行った。ブース来場者数は約 630 名。

企業展示ブースでは、いわて加速器関連産業研究会の活動を紹介。

同時開催：2023 洗浄総合展、2023 国際ロボット展、先端材料技術展 2023、表面改質展 2023、防災産業展



⑥ 「東北 ILC 推進協議会 ILC 講演会」(後援) (参加者 約 100 名)

令和 5 年 12 月 1 日 (金) 13:30~15:00 於：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口ホール

主 催：東北 ILC 推進協議会

後 援：(一社) 先端加速器科学技術推進協議会 (AAA)、東北 ILC 事業推進センター、岩手県国際リニアコライダー推進協議会

講 演：「科学プロジェクトの推進と東北への期待～CERN 視察を終えて～」

講 師：東北 ILC 推進協議会 代表 増子 次郎 氏

講 演：「CERN でのスタートアップ支援の取り組みについて」

講 師：CERN ベンチャーコネクト起業家推進官 アッシュ・ラヴィクマール

⑦ (一社) 国際経済政策調査会「PSG 特別セミナー」(協力)

令和 5 年 12 月 4 日 (月) 14:00~16:00 於：ザ・キャピトルホテル東急

主 催：(一社) 国際経済政策調査会 (吉岡 正和代表理事)

講 演：『台湾リスク』と日本を取り巻く安全保障」

講 師：(一財) キヤノングローバル戦略研究所 主任研究員 峯村 健司 氏

出 席：齋藤理事、猿川事務局長

⑧ 岩手経済同友会 ILC 講演会 (協力)

令和 5 年 12 月 7 日 (水) 16:00~17:00 於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW

主 催：岩手経済同友会

講 演：「アジア初となる大型国際研究機関 ILC 誘致の意義と我が国へのインパクト」

講 師：岩手大学・岩手県立大学 客員教授 吉岡 正和 氏

⑨ 令和 5 年度いわての高校生 サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト
(共催)

令和 5 年 12 月 17 日 (日) 10:00~16:00 於：アイーナ岩手県民情報交流センター

主 催：岩手県

共 催：岩手県教育委員会、岩手大学、岩手県国際リニアコライダー推進協議会

内 容：岩手県内の高校生・高専生による物理・化学・工学のいずれかの分野に関する研究などの成果発表をコンテスト形式で行うもの。

5 校 9 チーム 34 人参加 (盛岡中央、黒沢尻北、盛岡第三、水沢、花巻北)

知事賞：盛岡中央高校「ハスクレイチーム」

⑩ 「東北 ILC 推進協議会 ILC 講演会」(共催)(参加者 約 140 名)

令和 6 年 3 月 7 日 (木) 13:30~15:00 於：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口ホール

主 催：東北 ILC 推進協議会

共 催：(一社)先端加速器科学技術推進協議会、東北 ILC 事業推進センター、岩手県国際リニアコライダー推進協議会

講 演：「ILC 推進の現状と課題について」

講 師：高エネルギー加速器研究機構 機構長 山内 正則 氏

⑪ ILC まちづくり講演会(協力)

令和 6 年 3 月 11 日 (月) 13:30~17:00 於：アイーナ 812 会議室

共催 岩手大学、岩手県立大学、(一社)地球システム総合研究所 ILC 計画研究会

第一部 講演 アジア初となるグローバル研究所とまちづくり

～復興から次のステージへ！新しい時代のビジョン～

講師：首都高速道路(株)代表取締役専務 (国土計画協会地球村ビジョン策定委員)

藤井 健 氏

第二部 発表会 ILC 計画研究会

講師：(株)NTT ファシリティーズ カスタマーソリューション本部街づくり推進部

副部長 平井 貞義 氏

第三部 講師：藤井 健氏ほか講師陣と岩手県の青年団体のトップ会談

エ. 岩手県 ILC 連携室・オープンラボ及び実験室活用支援

・平成 30 年 4 月、ILC の中核部品であるクライオモジュールの実機の展示や ILC の関連情報を集約して、ILC への参入を目指すものづくり事業者や興味を持つ児童、教師など誰も

が学習・研究できる拠点として岩手県先端科学技術研究センター内に開設。

また、令和4年度より施設を拡充し、オープンラボ及び実験室にて、実験実習チャレンジ部を講師に高エネルギー加速器研究機構早野仁司名誉教授を招いて年5回実施した。

見学者 6団体 80名

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)



(4) 調査・研究活動

ア. ILCに関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出

■岩手県、いわて加速器関連産業研究会他と連携したセミナー

① 第1回 ILC 技術セミナー (後援)

令和5年6月1日(木) 14:40～／於：アイーナ501会議室

主催：いわて加速器関連産業研究会

基調講演「ILCの歴史について」

横谷 薫 氏 (高エネルギー加速器研究機構 名誉教授)

企業紹介1 (株)トーキン MSA 磁気応用 G シニアマネージャー 尾形 敢一郎 氏

企業紹介2 (株)小富士製作所 岩手本社工場 営業長 戸田 雄志 氏

② 第2回 ILC 技術セミナー (後援)

令和5年8月10日(木) 13:30～／於：アイーナ5階501会議室 (ハイブリッド開催)

主催：いわて加速器関連産業研究会

講演1 「J-PARK ハドロン実験施設における基礎物理研究とそれを支える技術」

高橋 仁 氏 (高エネルギー加速器研究機構

素粒子原子核研究所 J-PARK センター教授)

企業紹介 (株)ミラプロ つくば事業所 所長 中村 哲朗 氏

(株)金澤電気工業所 取締役社長 金澤 英治 氏

③ 第3回 ILC 技術セミナー (岩手大学・第22回加速器技術連続セミナー) (後援)

令和5年11月9日(木) 14:00～／於：岩手大学理工学部・復興祈念銀河ホール

主催：いわて加速器関連産業研究会、岩手大学(幹事)、岩手県、岩手県工業技術センター、東北 ILC 事業推進センター、秋田県高エネルギー加速器技術研究会

講演1：「放射光概要と岩手大学の取り組み」

吉本 則之 氏 (岩手大学理工学部教授)

講演2：「農産物・食品の放射光測定事例の紹介」

日高 将文 氏 (東北大学大学院農学研究科助教)

講演3：「小角 X 線散乱によるスギ材マイクロフィブリル評価」

- 廣沢 一郎 氏（九州シンクロトロン光研究センタービームライングループ長）
講演 4：「令和 4 年度放射光トライアルユース解析報告」
河野 裕一 氏（東日本機電開発(株)企画開発部門）
講演 5：「次世代放射光施設「Nano Teras」の概要と仙台市の取り組み」
高橋 大喜 氏（仙台市経済局イノベーション推進部 企業立地課）

④ 第 4 回 ILC 技術セミナー（後援）

- 令和 6 年 1 月 20 日（土）13:30～／於：岩手県立大学宮古短期大学部
主催：いわて加速器関連産業研究会・岩手大学・岩手県立大学・岩手医科大学
挨拶：いわて加速器関連産業研究会 会長 水戸谷 剛 氏
講演 1：「岩手と国際リニアコライダー・ILC」
鈴木 厚人 氏（岩手県立大学 学長）
講演 2：「公共政策と Well-being～AI を活用したシナリオ分析から考える」
和川 央 氏（岩手県立大学宮古短期大学部 准教授）
講演 3：「電子駆動型陽電子源開発」
榎本 嘉範 氏（高エネルギー加速器研究機構 准教授）
挨拶：岩手県立大学・岩手大学 客員教授 吉岡 正和 氏

⑤ 第 5 回 ILC 技術セミナー（後援）

- 令和 6 年 3 月 19 日（火）13:30～／於：マリオス 187 会議室
主催：いわて加速器関連産業研究会・岩手大学・岩手県立大学・岩手医科大学
講演 1：「心臓 CT の研究と開発プロジェクトの経験」
～心臓 CT は岩手から世界へ～
吉岡 邦浩 氏（岩手医科大学 主任教授）
講演 2：「クアオルト健康ウォーキングを生かした持続可能な地域づくりのすすめ」
竹花 光弘 氏（岩手県ふるさと振興部県北沿岸振興室県北振興課長）
講演 3：「超伝導薄膜空洞の表面処理について」
梅森 健成 氏（高エネルギー加速器研究機構 グループリーダー）

イ. 東北 ILC 事業推進センターの活動

- 東北 ILC 事業推進センターは、ILC 国際推進チームはじめ研究者コミュニティと密接な連携の下、建設候補地周辺の関係機関が協働して建設に必要な条件整備、受け入れ態勢の整備等について、地域が主導して検討を進めることを目的としている。
構成団体：岩手県、宮城県、仙台市、盛岡市ほか候補地周辺自治体、東北大学、岩手大学、岩手県立大学、岩手県 ILC 推進協議会 22 団体
連携機関：（一社）先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、東北 ILC 推進協議会
協力機関：高エネルギー加速器研究機構（KEK）
代表：岩手県立大学鈴木厚人学長

部会・部会長 地下施設検討部会：東北大学大学院 京谷 孝史 工学研究科教授
実験措置組立・検査拠点及び物流に関する検討部会：岩手大学 早野 仁司
客員教授
まちづくり・受入環境整備検討部会：岩手県立大学 鈴木 厚人 学長
ILC 理解促進部会：岩手大学 成田 晋也 理工学部教授
加速器関連産業検討部会：岩手大学 吉岡 正和 客員教授
環境影響検討部会：岩手大学 成田 晋也 理工学部教授
グリーン ILC 検討部会：岩手大学 吉岡 正和 客員教授

会議等

○東北 ILC 事業推進センター会議

毎週火曜日 9：00～10：00／岩手県立大学アイーナキャンパス学習室

メンバー：岩手県立大学鈴木学長、岩手県立大学山下特任教授、岩手大学・岩手県立大学
吉岡客員教授、岩手大学成田教授、東北大学京谷教授、東北大学佐貫准教授、岩手大学早
野客員教授（KEK）、岩手県 ILC 推進局、岩手県 ILC 推進協議会（齋藤理事、猿川事務局長）
・各部会活動の進捗や課題等について協議のほか、国内外の ILC の最新状況について情報
を共有している。

○令和 5 年度総会

令和 5 年 6 月 10 日（金）／書面決議

議事（1）令和 4 年度事業報告及び収支決算の承認について

（2）令和 5 年度事業計画案及び収支予算案の決定について

（3）規約の一部改正について

（4）役員を選任について

○第 1 回幹事会

令和 5 年 5 月 24 日（火）10：30～12：00／オンライン開催

議題（1）総会提出議案について

（2）総会の書面開催について

○第 2 回幹事会

令和 6 年 1 月 18 日（木）10：00～11：30／オンライン開催

議題（1）令和 5 年の部会の活動状況について

（2）令和 5 年度予算の執行見込等について

（3）令和 6 年度事業の基本的考え方等について

○第3回幹事会

令和6年3月26日（火）10：00～12：00／オンライン開催

- 議題（1）令和5年度の事業実績と決算見込みについて
（2）令和6年度事業計画（素案）及び予算（素案）について

○ILC計画現状説明会

日時 令和5年8月10日（木）13：30～15：00

会場 水沢グランドホテル2階「天平」

- 内容（1）講演 「ILCの最新動向について」
岩手県 ILC 事業推進センター代表 鈴木 厚人 氏
（2）東北 ILC 事業推進センター活動状況報告
「カーボンニュートラルに向けた洋野町の取組」
同 事務局長 大平 尚 氏
（3）ILC を契機としたまちづくりに係る共同研究の報告
（株）NTT ファシリティーズ カスタマーソリューション本部
街づくり推進部 副部長 平井 貞義 氏

○ILC解説セミナー

日時 令和6年2月17日（土）13：30～14：30

会場 一関市川崎市民センター

- 内容（1）「ILCの意義について」
岩手大学 成田 晋也 教授
（2）「ILCの現状、安全面への配慮等について」
高エネルギー加速器研究機構 道園 真一郎 教授
（3）「ILC計画への地元の期待と実現に向けた東北 ILC 事業推進センターの取組」
東北 ILC 事業推進センター事務局次長 佐々木岩手県 ILC 推進局副局長

参加者 51名

○チャレンジ部

高エネルギー加速器研究機構（KEK）名誉教授 早野 仁司氏を講師に、岩手県 ILC 連携室・オープンラボ及び実験室にて、電磁石の地場測定実習など年5回開催した。

ウ. ILC ガイドラインシリーズ7「ILC日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」増刷

ILCの社会的意義の発信のため、ガイドラインシリーズ7「ILCが生み出す『価値』と『未来』」を500冊増刷した。

(5) 広報活動

① ILC 誘致実現支援自動販売機の継続設置

みちのくコカ・コーラボトリング様のご協力を得て、売上の一部が ILC の誘致実現の活動（当協議会の活動等）に寄付される自動販売機を県内 2 か所に継続して設置している。



盛岡市（マリオス 3F）



奥州市（ダイコー壱番館）

② PR 用 ILC オリジナルポケットティッシュの作成・配布

ILC オリジナルポケットティッシュ 8,000 個を岩手県 ILC 推進局、自治体と合同で作成し、イベント等で配布した。

③ ILC 横断幕の作成

ILC 横断幕を岩手県 ILC 推進局、希望の自治体と合同で作成。うち岩手県庁舎に設置の横断幕については、サイズを従来の 1m×7m から 2m×10m のものに更新し、視認性を上げた。



④ ILC のぼり・ミニのぼりの作成

ILC のぼりとミニのぼりのデザインを新調し、講演会等で PR を行った。

⑤ ILC 啓発用手ぬぐいの作成

⑥ ILC トートバッグ・ポリ袋の作成

⑦ ILC クリアファイルの作成

⑧ イメージキャラクター「ILC そばっち」の活用

ILC への親しみやすさや岩手県が候補地であることのイメージの醸成のため、平成 27 年度に作成。当推進協議会会員等関係機関において広報物等に利用されている。

提供数：5 件（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）



⑨ 経済団体機関誌による ILC の広報活動

令和 3 年 7 月から「ILC current topics」として ILC の最新の動向についての情報を提供し、各経済団体の機関誌に掲載。令和 5 年度も各会員への周知活動により、関心を高めた。(21 号～33 号)

掲載紙 盛岡商工会議所「SANSА」

岩手県中小企業団体中央会「NEXUS」

岩手県産業振興センター「産業情報いわて」

岩手経済同友会「いわて経済同友」

岩手県商工会連合会「商工会いわて」

岩手経営者協会「いわて経協」

(6) 組織強化活動

ア. 会員増強

・法人・団体会員は 20 会員の減（退会 20）、個人会員 9 会員の減（新規加入 1、退会 10）。
会員状況については別掲。

イ. 産・学・官・関係機関との連携

■（一社）先端加速器科学技術推進協議会（AAA）との連携

① 総会

令和 5 年 6 月 19 日（月）14：00～15：30／国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール

出席者 猿川事務局長

報告 2022 年度事業報告、理事会決議事項の件

議事 第一号 2022 年決算報告・監査報告の件

第二号、2023 年度事業計画の件

第三号、2023 年度予算の件

第四号 2023 年度役員選任の件

特別講演「海外の状況と ILC 実現に向けた国際推進チーム（IDT）の活動」

国際推進チーム（IDT）議長 中田 達也 氏

② 理事会

第 42 回理事会

令和 5 年 5 月 26 日（金）10：00～11：20／三菱重工(株)会議室

出席者 谷村会長、随員：猿川事務局長

- 議事
- ・ 2023 年度通常総会議案の件
 - ・ 組織再編の件
 - ・ 規約制定の件
 - ・ 顧問委嘱の件
 - ・ 事務局長任命の件
 - ・ 部会長選任の件

第 43 回理事会/書面決議

令和 5 年 8 月 7 日（月）

- 議事
- ・ 部会長任命の件

③ 事務局会議

- ・ AAA 事務局と役員団体事務局、各部会長を構成員とする事務局会議が第 30 回から第 36 回開催され、猿川事務局長が出席した。

■東北 ILC 推進協議会との連携

① 総 会

令和 5 年 6 月 6 日（火）／ホテルモントレ仙台

- 議事
- 第一号 2022 年度事業報告並びに決算について
 - 第二号 2023 年度事業計画並びに予算について
 - 第三号 国際リニアコライダーの日本誘致に関する決議（案）について

講演 「ILC ビッグサイエンスとエコシステム」

講師 東京大学教授 横山 広美 氏

講演 「科学技術の進歩に向けた ILC への期待」

講師 東京大学素粒子物理国際研究センター長 浅井 祥仁 氏

② 第 1 回幹事会

令和 5 年 5 月 9 日（火）13：30～14：30／オンライン

- 議事 2023 年度総会等の議事について

③ 第 2 回幹事会

令和 6 年 3 月 29 日（木）／オンライン

- 議事 2023 年度事業報告及び決算について
2024 年度事業計画（素案）及び予算（素案）について

■いわてまるごと科学館実行委員会との連携

① いわてまるごと科学・情報館 in 宮古

令和5年7月29日（土）／於：宮古市総合体育館（シーアリーナ）

概要 岩手県 ILC 推進協議会ブースを出展。

岩手県 ILC 推進局と ILC-VR、リーフレット、ポスター等を展示。当協議会作成の ILC うまい棒を配布した。



② いわてまるごと科学・情報館 in 盛岡

令和5年11月25日（土）／於：アイーナ

概要 岩手県 ILC 推進協議会ブースを出展。

岩手県 ILC 推進局と ILC-VR、リーフレット、ポスター等を展示。当協議会作成の ILC うまい棒を配布した。

■岩手県 ILC 推進局との連携

連絡会議: 毎月1回、相互の活動状況や今後の活動計画等について意見交換を実施。

（7）諸会議等

■役員会

① 第1回役員会

令和5年6月12日（月）13:30～14:50／於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW

議事（1）令和4年度事業報告並びに収支決算について

（2）令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

報告「令和5年度岩手県の ILC 推進について」

岩手県 ILC 推進局 箱石 知義 局長

講話「ILC が生み出す未来」

日本加速器学会会長・広島大学教授 栗木 雅夫 氏



■幹事会

① 第1回幹事会

令和5年5月30日（火）10:30～11:30／於：盛岡商工会議所

議事（1）役員会提出議案について

■監査会

令和5年5月30日（火）11:30～12:00／於：盛岡商工会議所

令和4年度会計監査を実施。

（8）会員加入状況（令和6年3月31日現在）

合計 509 会員（法人・団体 468 会員、個人 41 会員）

※34 会員減：年度当初 543 会員（法人・団体 492、個人 51）

令和5年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支決算書

自)令和5年 4月 1日

至)令和6年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項目	決算額	予算額	対比増減(△)	備考
1. 会費	10,300,000	10,670,000	△ 370,000	
(1)法人会費	10,080,000	10,440,000	△ 360,000	予算:475会員/522口 → 決算:458会員/504口
(2)個人会費	220,000	230,000	△ 10,000	予算:42会員/46口 → 決算:39会員/44口
2. 負担金	500,000	500,000	0	@100,000×経済5団体
3. 雑収入	3,576,776	1,005,482	2,571,294	<ul style="list-style-type: none"> ・グッズ作成に係る負担金 2,810,585円 ・東北ILC事業推進センター負担金返還金 427,229円 ・みちのく共生会寄付金 261,000円 ・自販機手数料 37,825円 ほか
4. 繰越金	15,264,518	15,264,518	0	
合計	29,641,294	27,440,000	2,201,294	

■支出の部

(単位:円)

項目	決算額	予算額	対比増減(△)	備考
1. 事業費	11,559,308	19,440,000	△ 7,880,692	<ul style="list-style-type: none"> ・広報グッズ作成費 (横断幕・のぼり・トートバック・手ぬぐい等)3,400千 ・東北ILC事業推進センター負担金 1,500千 ・国会議員等への要望・打合せ関係旅費 1,360千 ・WSFA2023共催負担金 1,000千 ・Iwate Colider School 2024共催負担金 1,000千 ・講演会開催費 900千 ・動画配信・撮影費 750千 ・事業報告書・ILCガイドラインシリーズ印刷費 700千 ・東北ILC推進協議会年会費 100千 …など
2. 会議費	114,461	300,000	△ 185,539	役員会・幹事会開催費
3. 事務費	2,000,183	2,000,000	183	
(1)旅費	276,200	300,000	△ 23,800	推進団体総会等参加費
(2)印刷費	110,110	200,000	△ 89,890	資料コピー代、封筒代ほか
(3)通信運搬費	413,873	300,000	113,873	事業報告書・講演会案内等配送料、電話料
(4)事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4. 雑費	190,197	150,000	40,197	振込手数料、消耗品ほか
5. 予備費	0	5,550,000	△ 5,550,000	
合計	13,864,149	27,440,000	△ 13,575,851	

次年度繰越

15,777,145

貸借対照表

令和6年3月31日

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	15,777,145	流動負債	0
現金	0		
預金	15,777,145		
未収金	0		
固定資産	0	未処分剰余金	15,777,145
		当期剰余金	15,777,145
合 計	15,777,145	合 計	15,777,145

・広報グッズ作成費

財産目録

令和6年3月31日

■資産の部		(単位:円)
1. 現金	0	
2. 普通預金	15,777,145 (岩手銀行)	
3. 未収金	0	
資産合計	15,777,145	
 ■負債の部		 (単位:円)
負債合計	0	
差引正味財産	15,777,145	

令和5年度会計監査報告書

岩手県国際リニアコライダー推進協議会の令和5年度収支決算について監査をいたしましたところ、収入、支出ともに諸帳簿及び関係書類等と適合し、適正かつ正確に処理されていることを確認いたしましたので、ここに報告いたします。

令和6年5月28日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

監事 宗形 金吉 

監事 瀬川 浩昭 

令和6年度事業計画（案）

高エネルギー物理研究に用いる加速器の建設と運用における国際協力の促進を目的とする「国際将来加速器委員会（ICFA）」が創設した「国際推進チーム（IDT）」は、「ILC テクノロジーネットワーク（ITN）」による国際的な技術開発と「国際有識者会議」において ILC をグローバル計画として進める国際的な協議を始めている。

米国は、「素粒子物理学プロジェクト優先順位決定委員会（P5）」において、海外で建設が計画されているヒッグスファクトリー（FCC-ee または ILC）に米国が大きな役割を果たすことを推奨し、10年間で10～30億ドル（円換算1,450億円～4,350億円）を想定する予算を公表した。

欧州では、全周約100kmの巨大円形加速器「FCC-ee計画」の研究が進み、次期欧州素粒子物理学戦略（2026年）に向けた議論が始まる。

一方、中国の全周100kmの巨大円形加速器（CEPC）建設計画は、急速に進んでいる状況である。

このような中、2016年盛岡、2019年仙台で開催されたリニアコライダー国際ワークショップ「LCWS2024」が7月8日から東京大学を会場に開催される。

当推進協議会は、こうした国内外の動向を注視し、リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟や ILC 推進関係団体、経済3団体、ILC 実現建設地域期成同盟会との連携を強化し、省庁横断による国家プロジェクトとして政府主導による早期の誘致判断をするよう国等への働きかけを強化する。

また、海外研究者等の来県による連携の強化や国際スクール開催支援など海外への情報発信の強化に取り組む。

東北 ILC 事業推進センターは、「(仮称)東北 ILC 施設計画改訂版」や「地下水利用状況把握調査」のほか、ILC を契機としたまちづくりの具体化など、各部会活動の強化に取り組むこととしており、特に各種調査報告書をもとにした「ガイドラインシリーズ」の発刊による国内外への準備状況の発信など広報活動は連携して取り組む。

さらに、国民全体の盛り上がりが必要であることから、シンポジウムや講演会等の開催など積極的な啓発活動を岩手県、ILC 関係団体と万全を期して取り組む。

（1）国等への要望活動の強化

- 岩手県国際リニアコライダー推進協議会による要望活動
- ILC 建設地域期成同盟会ほか政産官学、地域連携による要望活動
- リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟との連携強化
- 経済3団体（日本商工会議所、日本経済団体連合会、経済同友会）との連携強化

（2）国内・外への ILC 実現にむけた活動

■国内 PR の強化

アジア初の大型国際科学技術拠点となる ILC 日本誘致がもたらす価値や最先端加速器が生み出す未来など、科学を礎にして国際社会をリードする「科学技術立国」を実現し、世界最高峰の知と最先端の技術の集積による世界に波及するイノベーションを創出する ILC の社会的意義の発信強化に取り組む。

また、SNS を活用した国内外への拡散が重要なことから、ILC 動画コンテンツの制作による普及など、新たな情報発信に取り組む。

■海外への情報発信強化

2024年7月、東京大学で開催される「リニアコライダー国際ワークショップ」(LCWS2024)のポスターセッションに岩手県、東北 ILC 事業推進センターと出展し、候補地の活動を国内外の研究者に PR するほか、グリーン ILC 国際ミーティングや 2025 年 2 月開催の国際スクール「Iwate Collider School」等の機会を有効に活用して、積極的な情報発信を行う。

また、引き続き当推進協議会ホームページ「THE KITAKAMI TIMES」等を活用して、ILC 誘致実現に取り組む情報や北上サイトの魅力などを世界に向けて情報発信を行う。

■普及啓発活動

ILC の最新動向や社会的意義等をテーマとした ILC 公開講演会を開催し、県民、国民全体に ILC 計画の理解促進と啓発に取り組む。

また、岩手県が主催する「まるごと科学館」等の県内イベントに関係団体等と連携して出展を行うとともに、全国イベントである「真空展 2024」等、県外イベントにも積極的に参画する。

■岩手県 ILC 連携室・オープンラボの活用支援

ILC の情報発信拠点、ILC を契機とした産業、人材育成の拠点として、平成 30 年 4 月に岩手県先端科学技術研究センター内に開設され、令和 4 年度に研究拠点として施設を拡充し、専門コーディネーターの指導による地元企業の研究活動に取り組む岩手県 ILC 連携室・オープンラボの積極的な活用支援を行う。

(3) 調査・研究活動

■東北 ILC 事業推進センターの活動支援

ILC 建設候補地周辺の環境整備や研究施設建設等に関する現地課題の検討に取り組んでいるが、今年度は「(仮称)東北 ILC 施設計画改訂版」「地下水利用状況把握調査」など ILC 立地に係る調査事業のほか、ILC を契機としたまちづくりの具体化等、受け入れ態勢の整備の準備活動に積極的に参画する。

■岩手県、いわて加速器関連産業研究会と連携して、ILC への加速器産業等参入機会の創出やネットワーク構築の支援に取り組む。

■「ガイドラインシリーズ」の発刊による国内外への情報発信強化(新規)

(4) 広報活動

■PR 動画の制作・発信(新規)

■YouTube 等 SNS ツールの活用

■ILC 啓発グッズの作成・配布、「ILC そばっち」の活用

■各種イベントによる ILC 啓発活動

(5) 組織強化活動

■ILC 誘致実現にむけた活動を強化するため、当推進協議会の会員増に努める。

■先端加速器科学技術推進協議会(AAA)、東北 ILC 推進協議会等と政産官学、地域連携の強化を図る。

(6) 諸会議等

■役員会・幹事会の開催

令和6年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支予算書(案)

自)令和 6年 4月 1日

至)令和 7年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備考
1.会費	10,200,000	10,670,000	△ 470,000	
(1)法人会費	10,000,000	10,440,000	△ 440,000	454会員/500口×@20,000
(2)個人会費	200,000	230,000	△ 30,000	36会員/40口×@5,000
2.負担金	500,000	500,000	0	@100,000×経済5団体
3.雑収入	800,855	1,005,482	△ 204,627	ILCグッズ負担金 東北ILC事業推進センター負担金返還分(226千円)など
4.繰越金	15,777,145	15,264,518	512,627	
合計	27,278,000	27,440,000	△ 162,000	

■支出の部

(単位:円)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備考
1.事業費	18,928,000	19,440,000	△ 512,000	<ul style="list-style-type: none"> ・国会議員等への要望・打合せ関係旅費 3,000千 ・国際学会等共催・負担金(LCWS2024、国際スクール、グリーンILC国際ミーティング) 3,000千 ・PR動画制作・発信費 3,000千 ・ILC公開講演会(年3回) 2,000千 ・東北ILC事業推進センター負担金 1,500千 ・講演会等動画撮影・配信費 1,000千 ・ILCポスター等広報グッズ作成費 1,000千 ・ILCガイドラインシリーズ印刷費 1,000千 ・事業報告書印刷費 500千 など ・事業予備費 2,928千
2.会議費	300,000	300,000	0	役員会等
3.事務費	2,200,000	2,000,000	200,000	
(1)旅費	300,000	300,000	0	関係団体総会・役員会等旅費
(2)印刷費	200,000	200,000	0	資料コピー代、封筒代ほか
(3)通信運搬費	500,000	300,000	200,000	広報物・事業報告書等配送料、電話料
(4)事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4.雑費	300,000	150,000	150,000	振込手数料、消耗品ほか
5.予備費	5,550,000	5,550,000	0	
合計	27,278,000	27,440,000	△ 162,000	